

全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----

更新 Time-stamp: "2004/07/09 Fri 11:51 hig"

quiz 略解 14

$$\begin{aligned}\text{密度} &= \frac{1[\text{g}]}{\pi(1[\text{cm}])^2 1[\text{mm}]} \\ &= \frac{1[\text{g}]}{\pi(1[\text{cm}])^2 1[\text{mm}]} \cdot \frac{1[\text{kg}]}{1000[\text{g}]} \cdot \left(\frac{100[\text{cm}]}{1[\text{m}]}\right)^2 \cdot \frac{1000[\text{mm}]}{1[\text{m}]} \\ &= 3 \times 10^3 [\text{kg}/\text{m}^3]\end{aligned}$$

1 円玉はアルミニウムなので, $2.7 \times 10^3 [\text{kg}/\text{m}^3]$ くらいのはず. 水の密度より大きいのに水に浮くのはなぜ? 有効数字は 1 桁なので, 2 桁までとって計算し, 最後に四捨五入する.

quiz 略解 15

初速は $V_x = 10[\text{m/s}]$, $V_z = 10\sqrt{3}[\text{m/s}]$. $x(t) = 20$ となる時刻 $t = T$ [s] を求めると, $T = 2[\text{s}]$. $z(2) = -\frac{1}{2}g \cdot 2^2 + 10\sqrt{3} \cdot 2 = 15.0[\text{m}]$ なのでクロスバーの上を越える. 有効数字 2 桁なので, 3 桁までとって計算し, 最後に四捨五入する.

10. 等速円運動と単振動

10.1 単振動

質量 m の物体の, x 軸上の運動

$$\boxed{\text{位置}} \quad \mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (146)$$

を **単振動**, **調和振動** という. ただし, $R(> 0), \omega, \phi$ は定数.

速度

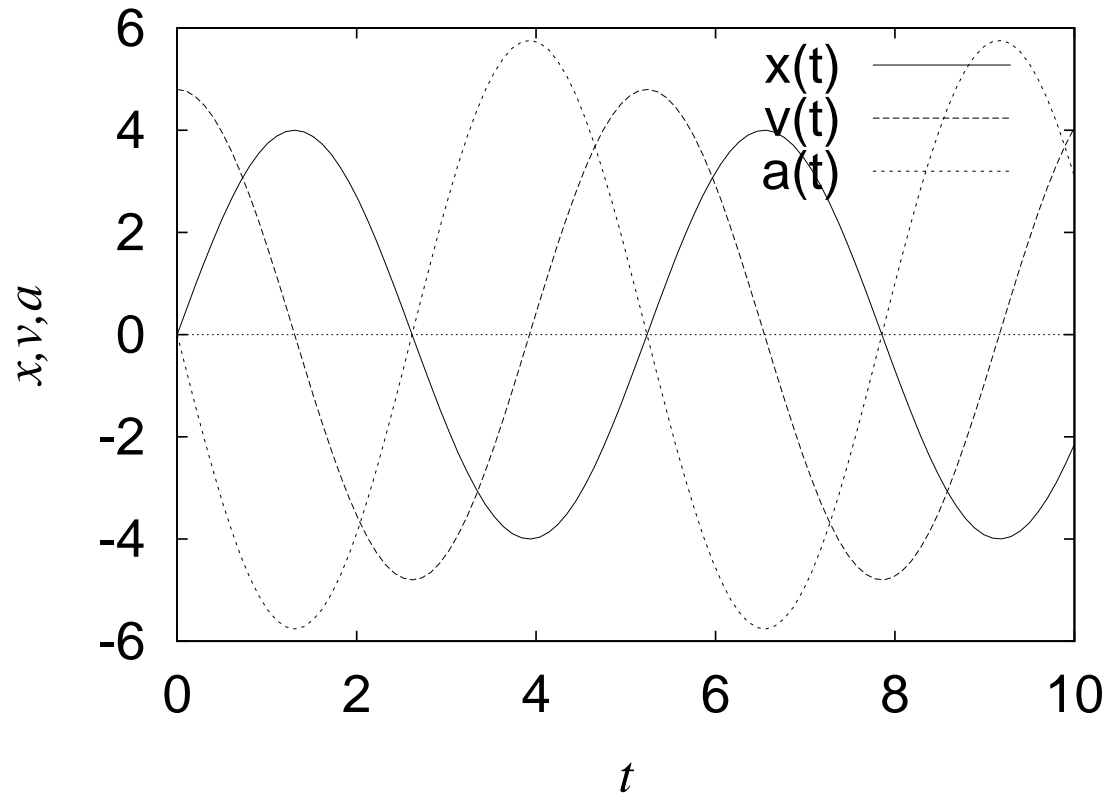
$$\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega \sin(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (147)$$

加速度

$$\frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega^2 \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = -\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (148)$$

力

$$\mathbf{F}(t) = m \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -mR\omega^2 \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = -m\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (149)$$



アニメ i/V/EZ アプリ

単振動のいろいろな量 ちょっとたいへんだけとおぼえよう.

記号	単位	名前	意味 (単振動)
R	[m]	振幅/半径	原点からの最大距離
ω	[rad/s]	角速度	単位時間あたりの位相の変化
ϕ	[rad]	初期位相	時刻 $t = 0$ における位相
$\omega t + \phi$	[rad]	位相	cos の引数
$T = \frac{2\pi}{\omega}$	[s]	周期	もとの位置, 速度にもどるまでの時間
$f = \frac{1}{T}$	[1/s] = [Hz]	振動数	単位時間に何回振動するかという数

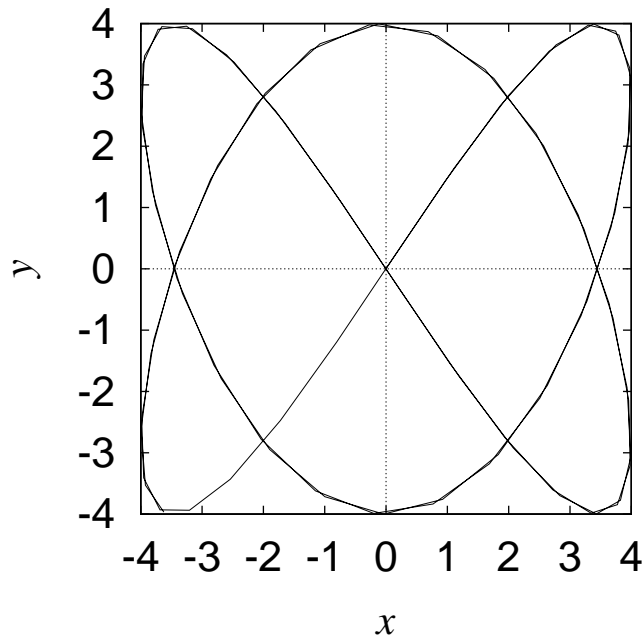
10.2 単振動の組みあわせ—リサージュ運動

x, y 軸方向に, それぞれ単振動している物体を考えよう. 運動

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R_1 \cos(\omega_1 t + \phi_1) \\ R_2 \cos(\omega_2 t + \phi_2) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (150)$$

を **リサージュ運動** という. ただし, $R_i > 0, \omega_i, \phi_i$ は定数.

軌跡の例.



10.3 等速円運動

リサージュ運動の特別な場合 $R = R_1 = R_2, \omega = \omega_1 = \omega_2,$

$\phi_1 = 0, \phi_2 = -\frac{1}{2}\pi$ を考えよう. $\cos(\omega t - \frac{1}{2}\pi) = \sin(\omega t).$

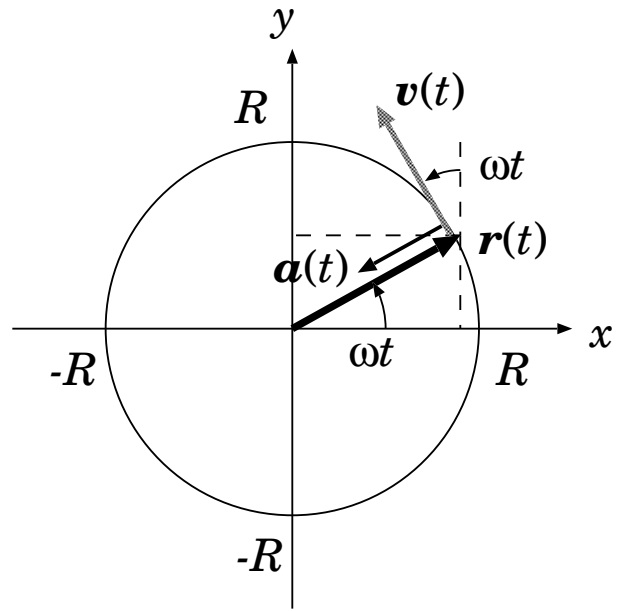
位置

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos \omega t \\ R \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix}. \quad (151)$$

軌跡 $x^2 + y^2 = R^2, z = 0$ より, xy 平面上の半径 R の円.

$\mathbf{r}(t)$ の向きは, x 軸の正の向きから 反時計回り にはかって ωt (時刻に比例)

これは等速円運動. 等速円運動の x 座標, または y 座標だけを見ると単振動になっている.



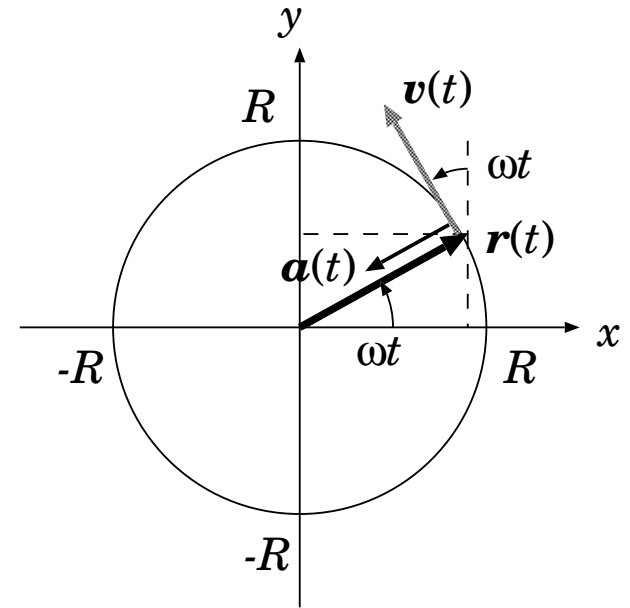
アニメ i/V/EZ アプリ

速度

$$\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega \sin \omega t \\ +R\omega \cos \omega t \\ 0 \end{pmatrix} \quad (152)$$

これは 89

なぜなら



速さ $|\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t)| = (R^2\omega^2 \cos^2 \omega t + R^2\omega^2 \sin^2 \omega t)^{\frac{1}{2}} = R\omega$. (一定)

$\omega > 0$ なら 90, $\omega < 0$ なら 91 に運動.

等速円運動では位置ベクトルと速度ベクトルはいつでも直交. なぜなら代入してみると, 内積 $\mathbf{r}(t) \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = 0$ だから. あるいは, $\mathbf{r}(t) \cdot \mathbf{r}(t) = R^2$

の両辺を微分して (内積の微分のところでやりました)

$$\frac{d}{dt}(\mathbf{r}(t) \cdot \mathbf{r}(t)) = \frac{d}{dt}(R^2) \quad \rightsquigarrow 2\mathbf{r}(t) \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = 0. \quad (153)$$

速度ベクトルを位置ベクトルで表わそう

$\boldsymbol{\omega} = \omega \mathbf{k}$ とおく (\mathbf{k} は z 軸の正の向きの単位ベクトル), このとき,

92

(外積) (154)

と書ける. これは, xy 平面内とは限らない等速円運動でも成立.

Check1: 大きさは $|\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{r}(t)| = |\boldsymbol{\omega}| |\mathbf{r}(t)| \sin \frac{\pi}{2} = R\omega$

向きは, $\mathbf{v}(t)$ は, $\boldsymbol{\omega}, \mathbf{r}(t)$ の両方に垂直, $\langle \boldsymbol{\omega}, \mathbf{r}(t), \mathbf{v}(t) \rangle$ が右手系をなすことから決まる.

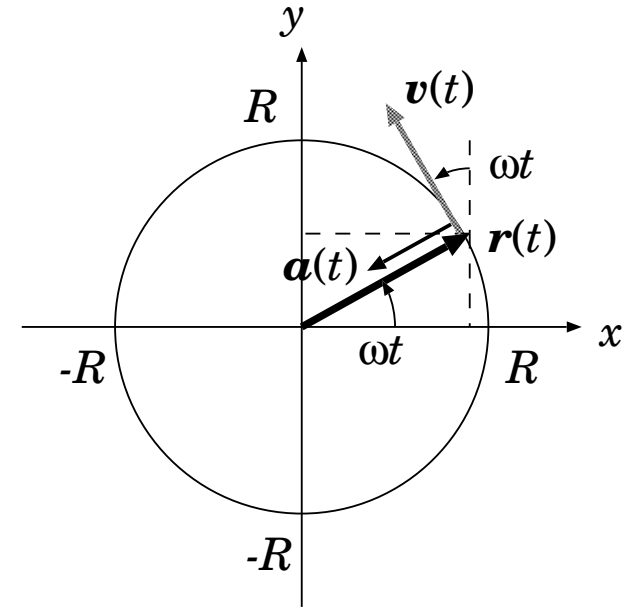
Check2:

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ \omega \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} R \cos \omega t \\ R \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix} = (\text{外積を成分で計算}) = \begin{pmatrix} -R\omega \sin \omega t \\ +R\omega \cos \omega t \\ 0 \end{pmatrix} \quad (155)$$

加速度ベクトル

$$\frac{d^2 \mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega^2 \cos \omega t \\ -R\omega^2 \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix} = -\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (156)$$

加速度の 93 は一定, 94 は一定でない.



加速度の大きさ $|\frac{d^2 \mathbf{r}}{dt^2}(t)| = R\omega^2$. (一定)

向きは $\mathbf{r}(t)$ と平行で逆向き.

つまり, 加速度は回転の中心を向いている (向心加速度 といわれる)

したがって, 速度ベクトル $\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t)$ とは直交. これは等速運動すべてに成

り立つ性質なのだった (夏のプチテスト 3)

$$\boxed{\text{力}} \mathbf{F} = m \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -mR\omega^2 \sin(\omega t + \phi) \\ +mR\omega^2 \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \end{pmatrix} = -mR\omega^2 \mathbf{r}(t), |\mathbf{F}| = mR\omega^2$$

ちょっと一般化

$\phi_1 = \phi, \phi_2 = \phi - \frac{1}{2}\pi$. ϕ :新しい定数. いままでは $\phi = 0$ としてた.

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega t + \phi) \\ R \sin(\omega t + \phi) \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega(t + \frac{\phi}{\omega})) \\ R \sin(\omega(t + \frac{\phi}{\omega})) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (157)$$

これも等速円運動.

時刻 $t = 0$ の位置が $\begin{pmatrix} R \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ でなく, $\begin{pmatrix} R \cos \phi \\ R \sin \phi \\ 0 \end{pmatrix}$ になっただけ.

あるいは, $\mathbf{r} = \begin{pmatrix} R \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ となる時刻が, $t = 0$ から 95 にずれた
だけ (出発時刻の変更).

等速円運動のいろいろな量 ちょっとたいへんだけとおぼえよう.

記号	単位	名前	意味 (単振動)	(等速円運動)
R	[m]	振幅/半径	原点からの最大距離	半径
ω	[rad/s]	角速度	単位時間あたりの位相の変化	単位時間あたりの位相の変化
ϕ	[rad]	初期位相	時刻 $t = 0$ における位相	時刻 $t = 0$ における位相
$\omega t + \phi$	[rad]	位相	cos の引数	x 軸からはかった角.
$T = \frac{2\pi}{\omega}$	[s]	周期	もとの位置, 速度にもどるまでの時間	一周するまでの時間
$f = \frac{1}{T}$	[1/s] = [Hz]	振動数	単位時間に何回振動するかという数	単位時間に何周するかという数

位置, 速度, 加速度ベクトルの大きさの間には,

$$|\mathbf{r}(t)| = R, \quad (158)$$

$$\left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) \right| = R\omega, \quad (159)$$

$$\left| \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) \right| = R\omega^2 \left(= \frac{\left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) \right|^2}{R} \right) \quad (160)$$

などの関係があることがわかる. これらはおぼえなくてよい. $r(t)$ の式 (151) だけ書ければ, 微分して全部出せるから.

例題 21

30 秒に 1 回転しているメリーゴーラウンドがある. 中心から $10[\text{m}]$ のところで馬に乗っている人は円運動している. この人の角速度を求めよう. 速さと加速度の大きさを求めよう.

96

quiz 16

物体 1 が, xy 平面内で, 原点を中心とする等速円運動をしている. 半径は 2, 振動数は $\frac{1}{12}$ で, 運動の向きは, (右手系の) z 軸の正の向きから見て

反時計回りである. 時刻 t の位置ベクトルを $r(0) = \begin{pmatrix} \sqrt{2} \\ \sqrt{2} \\ 0 \end{pmatrix}$ である.

1. 初期位相を, 初期条件から定めて, $r(t)$ の式を求めよう.
2. 物体 1 が直線 $y = -x, z = 0$ 上にくる時刻を求めよう.
3. 物体 1 は直線 $y = -x, z = 0$ の, $-2 \leq x \leq -1$ の部分を通過するか判定しよう.
4. 物体 2 が

$$r_2(t) = \begin{pmatrix} \cos(2\pi t) \\ \sin(2\pi t) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (161)$$








にしたがって運動している. 物体 1 と物体 2 がもっとも接近する時刻と, そのときの距離を求めよう.

quiz 17

音楽 CD(直径 12cm) は, (全曲の終わりごろには) 毎分 200 回転している. このときの角速度 ω [rad/s] と 振動数 f [Hz] を求めよう. CD の縁

の部分は, どれだけの速さで動いているか, [m/s] と [km/時] で求めよう.

注 平均 32 倍速の CDROM は, この約 32 倍の速さです.

<p>上段リサ ージュー運動, 下段単振動</p>  <p>hig3.net</p>	  <p>i アプリ</p>	  <p>V アプリ</p>	  <p>EZ アプリ</p>
--	--	--	---